

第95回メーデー 県内各地で開催！

**連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！**

県内各地で第95回メーデーが開催されました。コロナ禍を経てようやく以前の様相を取り戻した大規模なメーデーとなり、当日は、各地区において組合員・家族を含めてたくさんの皆さんにご参加いただきました。

メーデー集会会場では、すべての働く仲間との連携と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを宣言するとともに、次のことを参加者へ訴えました。

- 2024春季生活闘争を通じた物価高を超える賃金水準の獲得により、暮らしの底上げ・底支え・格差是正に向けた継続的な取り組みに加え、今次春闘の大幅な賃上げの流れを、私たち労働組合が先頭に立つ

て長崎県の地場・中小企業やすべての働く人たちに波及させること。

- 被爆地長崎の県民、労働組合として、核兵器廃絶と世界の恒久平和を引き続き訴え、被爆者の思いを継承し、二度と戦争はさせないという強い決意と行動を通じて、民主主義を守り、貧困や格差のない平和で笑顔あふれる未来の実現を求めていくこと
- 次期衆議院選挙では、総力を結集し、政策・理念を共有する推薦候補者全員の勝利を目指し取り組んでいくこと

各地区での開催の様子は以下の通りです。

長崎地区メーデー 5月1日(水)10:30～
旧長崎県庁跡地グラウンドエリア 参加者:3,050人



諫早地区メーデー 5月1日(水)18:00～
諫早市役所前交流広場 参加者:300人



島原地区メーデー 5月1日(水)10:00～
島原市霊丘公園体育館 参加者:290人



大村地区メーデー 5月1日(水)18:30～
シーハットおおむら 参加者:280人



吉岐地区メーデー 4月27日(土)13:00～
大谷公園体育館 参加者数:158人



対馬地区メーデー 4月25日(木)18:00～
厳原幼稚園跡地 参加者数:150人



佐世保地区メーデー 5月1日(水)10:00～
島瀬公園 参加者数:435人



北松・平戸・松浦地区統一メーデー 5月1日(水)18:30～
松浦市文化会館 参加者数:204人



下五島地区メーデー 5月1日(水)18:00～
福江みなと公園 参加者数:170人



上五島地区メーデー 5月1日(水)18:30～
新上五島町石油備蓄記念会館 参加者数:53人



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!!

「連合長崎寄付講座」が開講！

連合長崎は次世代を担う働き手である学生に「労働のあり方や現場の課題」、「行政と労働組合の役割」を理解してもらうとともに、「職業意識」を高めてもらうことを目的として「連合長崎寄付講座」を長崎大学経済学部で開講しています。4月13日のオリエンテーションを皮切りに寄付講座がいよいよ始まりました。講義室には、今年も多くの学生が集まり、受講しています。

第2回目の講義からは実際の講義が始まり、毎週水曜日の午後に講義を行っています。これまで、連合長崎高藤会長をはじめ、教育文化協会の相原理事長、

連合本部則松副事務局長、長崎労働局倉永局長にもご講義をいただきました。

また、第6回目となる5月22日には「100年に一度の変革期と人口流出の課題」と題して、鈴木史朗長崎市長にもご講義いただきました。

今後も、連合本部北野副事務局長をはじめ、長崎県の大石知事、こくみん共済coopなどの関係団体役員も講師となり、7月26日まで講義を行います。今後の日本、そして長崎の将来を担う学生たちに「働くことの意味」や「労働組合の必要性」などを伝えていけるよう、講師一同、頑張っております。

政策・制度学習会で理解を深める

～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～

連合長崎は、働く者・生活者が求める政策・制度の実現に向けて、長崎県に対し(各地協は市町に対し)、政策・制度要求行動を毎年行っています。

この政策・制度実現に向けた取り組みへの理解を深めるため、5月13日(月)に長崎県勤労福祉会館(長崎市)において「連合長崎2024年度 政策・制度学習会」を開催し、構成組織、地協・ブロック、また政党・各級議員より82名の方にご出席いただきました。

本学習会では例年、連合本部より講師をお招きし、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けた政策・制度要求の取り組みと「連合の重点政策」についてお話しいただいておりましたが、県政の状況や連携する議員団の取り組みについても知りたいとの声があったことから、

昨年に引き続き今年も長崎県議会会派改革21より議員団を講師としてお招きし、「改革21の取り組みと政策」についてご講演をいただきました。講演では、あいばあつこ県議、坂本ひろし県議、白川あゆみ県議、中村たいすけ県議に、県議会の4つの常任委員会での改革21の取り組みについてお話いただいたほか、参加者からのご意見や要望にもお答えいただきました。

その後、連合長崎の西野副事務局長から、現在取りまとめ中の「2024年度長崎県に対する政策・制度要求書(案)」について提起しました。要求書は、参加者の意見などを踏まえて最終的な内容を確認し、「価格転嫁や長時間労働是正の推進」「県民所得向上に向けた取り組み」「人口減少対策」など、13分野26項目の要求を8月29日(木)に長崎県に対して提出する予定です。



政策委員会 堀江委員長



質問する参加者



長崎県議会会派 改革21議員団のみなさん

《連合がめざす社会像とは》

- ・働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会である。
- ・加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性別、障がいの有無、国籍などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会、すなわち「つづく社会」「つづきたい社会」である。

6月は 男女平等月間！

連合長崎は男女平等参画社会に向けた取り組みを進めています

★男女平等月間学習会の開催

6月8日(土)長崎県勤労福祉会館(長崎市)で開催し、女性委員会を中心に、各構成組織より41名の方に参加いただきました。

最初に連合長崎ジェンダー平等推進委員会 川内委員長(連合長崎副会長・JP労組)が主催者を代表して挨拶し、引き続き、「身近にあるアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」についてグループワークを行いました。参加者は6つのグループに分かれ、それぞれの考えについて活発に意見交換し、アンコンシャス・バイアスについて改めて考える機会となりました。参加者からは、「今まで意識してなかった部分が見えた」「自分が気づかなかった偏見に、他の参加者の方の意見を聞いたり、他のグループの発表を聞いたりして新しい発見があった」「男女の違いだけでなく、さまざまな違いをお互いに認め合うこと・気づくことで、より生きやすい・働きやすい社会になるのだなと改めて感じました。」などのご意見をいただき、とても有意義な学習会となりました。

★長崎労働局雇用環境・均等室へ要請

連合長崎ジェンダー平等推進委員会・女性委員会および連合長崎は、6月3日(月)長崎労働局雇用環境・均等室に対し、「男女平等参画社会の実現に向けた要請書」を提出しました。

働き方改革への取り組みに注目が集まる中、女性活躍をはじめ、さまざまな人びとがいきいきと働ける就業環境の整備・改善は一層重要な課題となってい

ます。雇用の分野における男女平等は、政府の第5次男女共同参画基本計画においても極めて重要な位置付けにあります。近年では性的指向・性自認(SOGI)への対応や、仕事と不妊治療の両立など、新たな課題も大きく取り上げられています。また、4月1日から施行されている「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に従い、各自治体でも主体的な取り組みや民間との連携が求められています。これらの内容の周知と趣旨の徹底をお願いするとともに、連合長崎と雇用環境・均等室との連携強化を目的として行いました。

連合長崎を代表し、連合長崎ジェンダー平等推進委員会 菊永副委員長から長崎労働局雇用環境・均等室 佐藤室長に対し要請書を手交しました。要請項目は、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律を受けての取り組み」「各自治体、ハローワークにおける女性相談支援員など相談・支援窓口業務を行う職員の雇用の安定と処遇改善」「防災計画策定における女性の参画と防災担当女性職員の配置」「女性の雇用創出と男女間賃金格差の是正」「あらゆるハラスメントの防止に向けた取り組み」について5項目あり、その後意見交換を行うと共に、様々な課題に対して共通認識と今後連携した取り組みを行うことを確認しました。

連合長崎は長崎労働局とともに、「働く女性をはじめすべての人の人権が尊重され、誰もが自らの能力を十分に発揮し、安心して暮らせる社会の実現」に取り組んでまいります。



長崎労働局雇用環境・均等室 佐藤室長(右)に要請書を手交する菊永副委員長(左)